



上智大学イベロアメリカ研究所

2013年度活動報告

(2013年4月～2014年3月)

No. 21 (2014年5月)

§ 研究会

◆ 研究所共同研究 「アジア・太平洋時代のラテンアメリカ」

研究代表者： 幡谷則子

共同研究者： Nina HASEGAWA、岸川毅、子安昭子、Mauro NEVES、田村梨花、谷洋之、Helena TOIDA、Ana Elisa YAMAGUCHI、矢澤達宏、吉川恵美子

研究会： (12月17日)

岸川毅「アジア・太平洋時代のラテンアメリカ研究を考える—A.G. フランク『リオリエント』をてがかりに—」

(1月28日)

飯島真里子 (英語学科) 「ハワイにおけるヒスパニック系移民」

研究発表： (11月29日)

Sophia Research Festival ポスターセッション参加

研究課題： 「ラテンアメリカの新しい地域動態—経済統合と安全保障—メキシコとアンデス諸国の事例を中心に—」

発表者： 幡谷則子

海外出張： Helena TOIDA (ブラジル、8月9日～9月3日)

吉川恵美子 (スペイン、9月1日～10日)

Mauro NEVES (韓国、3月11日～16日)

◆ ランチタイム・フリートーク

第48回 4月24日 村瀬幸代「チリの小農—先行研究における分析の諸相とその課題」

第49回 5月15日 大場樹精「ブエノスアイレスにおける大シリア系移民の職業構成—同業者集団の成立とその階層性—」

第50回 6月12日 加藤薫「現代美術世界と共生する戦略としてのプリミティブスモ」

第51回 7月3日 谷洋之「『農業』と『農村』の間で—現代メキシコの農業政策—」

第52回 11月6日 矢澤達宏「20世紀前半の黒人新聞にみる人種とブラジル社会」

第53回 11月27日 新木秀和「Buen Vivir と自然の権利—エクアドル憲法の理念と課題—」

第54回 1月28日 藤田護「ボリビアのラパス地域におけるアイマラ語の口承文学とその現実との関わり」

§ 講演会

◆ 5月28日 “Brazilian Cerrado Development from the Perspectives of the Environment and Food Sovereignty: Mega Agricultural Development and Livelihood of Small Scale Farmers and Plantation Workers”

(「ブラジルのセラード開発と環境・主権問題—大規模農業開発と小農民・農業労働者の暮らし—」)

Sergio SCHLESINGER (ブラジル NGO・FASE アドバイザー)

(共催: 上智大学グローバル・コンサーン研究所)

- ◆ 6月27日 「キューバ経済の現在—課題と展望—」
Mauricio de MIRANDA PARRONDO (コロンビア・ハベリアナ大学カリ校教授)
Pavel VIDAL ALEJANDRO (コロンビア・ハベリアナ大学カリ校准教授)
日本語解説：山岡加奈子 (日本貿易振興機構アジア経済研究所)
〈後援：日本貿易振興機構アジア経済研究所〉
- ◆ 9月14日 “¿Para qué hacer filosofía con niñas y niños en América Latina?”
(「ラテン・アメリカで子どもとともに哲学する理由」)
Walter KOHAN (リオデジャネイロ大学教授)
〈主催：科研費研究「初等・中等教育における哲学教育推進のための理論的・実践的研究」
共催：上智大学文学部哲学科、後援：上智大学外国語学部イスパニア語学科・ポルトガ
ル語学科・イベロアメリカ研究所・グローバル・コンサーン研究所〉
- ◆ 12月5日 “Solidarity Economy in the World: Its Perspective in Latin America”
(「世界に広がる連帯経済—そのラテンアメリカにおける射程—」)
Jean-Louis LAVILLE (フランス国立工芸院教授)
〈後援：グローバル・コンサーン研究所、『ラテンアメリカの連帯経済研究会』〉
- ◆ 12月16日 “El Postchavismo en Venezuela: perspectivas del gobierno de Maduro”
(「ポスト・チャベス期のベネズエラ—マドゥロ政権の展望—」)
Héctor BRICEÑO, Jorge DÍAZ POLANCO, Thais MAINGÓN
(ベネズエラ中央大学開発研究所教授)
坂口安紀 (日本貿易振興機構アジア経済研究所)
〈主催：上智大学イベロアメリカ研究所、日本貿易振興機構アジア経済研究所〉
- ◆ 1月16日 “From the ‘Diretas Já’ to the ‘Passe Livre’ Street Demonstrations: 30 Years of Citizen’led
Institutional Consolidation in Brazil”
(「市民主導の制度定着に向けたブラジル 30年の歩み—民主化運動『ジレットタスジ
ャー』から今年の街頭行動『パッセリブレ』まで—」)
Mauricio BUGARIN (ブラジル大学教授)

§ 公開シンポジウム

- ◆ 5月31日 「ラテンアメリカの新しい地域動態—経済統合と安全保障—」
プログラム：
 - ◇ 開会の挨拶 幡谷則子
 - ◇ 第1セッション：経済統合 [司会 幡谷則子]
 - ・「アジア・太平洋における統合の新動向—日本とラテンアメリカへの含意」／桑山幹夫 (法政大学)
 - ・「メキシコの TPP 参加—課題とチャンス」／Melva FALCK REYES (グアダラハラ大学・京都大学)
 - ・コメント／谷洋之 (上智大学)
 - ・ディスカッション
 - ◇ 第2セッション：政治動態と地域安全保障 [司会 村上勇介 (京都大学)]
 - ・「アンデス地域における発展、協力、安全保障」／Fredy RIVERA PÉREZ (FLACSO エクアドル校)
 - ・「Bacrim と Maras—ラテンアメリカにおける暴力と治安悪化の表象」／José Luis PAINE (チリ国防省分析官)
 - ・コメント／Isami ROMERO HOSHINO (帯広畜産大学)
 - ・ディスカッション
 - ◇ 閉会の挨拶 村上勇介

〈主催：上智大学イベロアメリカ研究所・京都大学地域研究統合情報センター〉

§ 出版物

- ◆ 『2012 年度活動報告』 No. 20
- ◆ *Boletín Informativo*, No. LVIII
- ◆ 石井康恵『「メキシコ料理」の形成—1900 年代および 1920 年代メキシコ市のレストラン広告からの一考察—』（ラテンアメリカ研究 ILA No.38）（ISBN: 978-4-904704-09-7）
 - 序章
 - 第 I 章 メキシコ市の食文化史
 - 第 II 章 1900 年代メキシコ市におけるレストランとそれをめぐる社会生活
 - 第 III 章 1920 年代メキシコ市におけるレストランとそれをめぐる社会生活
 - 終章 メキシコ市のレストランを通じた「メキシコ料理」の形成
 - 参考文献
 - 用語集: 本論文に登場するメキシコの食材と料理
 - 要約 (スペイン語)
- ◆ 大倉由布子『紡ぎ織りなす村落共同体アイデンティティ—グアテマラ、マヤ系先住民女性の織物と伝統衣装より—』（ラテンアメリカ研究 ILA No.39）（ISBN: 978-4-904704-10-3）
 - はじめに
 - 第 I 章 グアテマラ国家とマヤ系先住民
 - 第 II 章 グアテマラと織物・伝統衣装の歩み
 - 第 III 章 サン・アントニオの織物・伝統衣装
 - 第 IV 章 サン・アントニオの装いと織り: モノを通してみる多様なアイデンティティ
 - 第 V 章 紡ぎ織りなす村落共同体アイデンティティ
 - おわりに
 - 参考文献
 - 資 料
 - 要 約 (スペイン語)
- ◆ 長谷川ニナ『独立以後 19 世紀末までのメキシコの印刷文化研究における最近の研究動向／El estudio del impreso mexicano decimonónico en años recientes』（ラテンアメリカ・モノグラフ・シリーズ LAMS No.24）（ISBN: 978-4-904704-11-0）
 - I. はじめに
 - II. 主要文献解説と抄訳
 - III. おわりに
 -
 - I. Introducción
 - II. Resultados de los avances principales: síntesis
 - III. Notas finales
 - 参考文献／Bibliografía
 - 付録資料／Apéndice
- ◆ *Encontros Lusófonos* (ISSN: 1346-5058), No.15
 - 講演会
 - Cristóvão TEZZA, Luiz RUFFATO, Tatiana SALEM LEVY “Jornada de Literatura Brasileira 2012: Panorama atual da literatura brasileira”
 - 論文
 - Vinicius Mariano de CARVALHO “Francisco Valle, um precursor do nacionalismo musical brasileiro?”
 - 研究ノート
 - エレナ・ヒサコ・トイダ「椰子の葉陰にて—ハワイにおける日本人移民の俳句」
 - 現地レポート
 - Hilda HANDA “A evolução da mídia brasileira no Japão”
 - 書評
 - Mauro NEVES “Colvin, Michael, *The Reconstruction of Lisbon: Severa’s Legacy and the Fado’s Rewriting of Urban History*”
 - 編集後記

◆ 『イベロアメリカ研究』 (ISSN: 0388-1237)

・第 XXXV 巻第 1 号 (2013 年度前期)

講演

Manuel ALCÁNTARA SÁEZ “Los retos actuales de la política en América Latina”

論文

岡田勇 「モラレス政権下におけるボリビア鉱業のアクターと政策過程—強力な利益団体と政府の影響力関係についての試論—」

駒井睦子 「アルフォンシーナ・ストルニの 7 冊目の詩集における前衛的手法—新しい「私」が語る新しい物語—」

上村淳志 「アルブール論再考—現代メキシコのゲイ・アイデンティティを持つ者にとっての機能—」

書評

藤井礼奈 「Mahoney, James, Colonialism and Postcolonial Development: Spanish America in Comparative Perspective (New York: Cambridge University Press, 2010), xvii, 400 p.」

資料

ラテンアメリカ日誌—2012 年—

研究所ニュース

活動日誌

出版物リスト

編集後記

・第 XXXV 巻第 2 号 (2013 年度後期)

講演

Walter Omar KOHAN, “¿Para qué hacer filosofía con niñas y niños en América Latina?”

Barbara KNOKE DE ARATHOON, “Investigación etnográfica de la indumentaria y el tejido mayas de Guatemala: experiencias recientes (2002 -2012)”

論文

尾尻希和 「ラテンアメリカのリベラル・デモクラシーの変容—コスタリカとベネズエラにおける利害調整プロセス—」

現地報告

長谷川ニナ 「『平和のための米国横断キャラバン』—麻薬戦争終結をめざす米墨民間外交の可能性—」

書評

小池洋一 「鈴木美和子『文化資本としてのデザイン活動—ラテンアメリカ諸国の新潮流』水曜社、2013 年、169p.」

資料

日本・ラテンアメリカ関係日誌—2012 年—

研究所ニュース

活動日誌

出版物リスト

編集後記

§ 来訪者

5 月 6 日 Luis J. ARREGU (アルゼンチン) 駐日大使館公使

6 月 18 日 Santiago HERRERO AMIGO (スペイン) 駐日大使館文化科学担当参事官

Javier SÁNCHEZ DE LEÓN (スペイン) 駐日大使館文化部

7 月 26 日 Cezar ALVES FERRAGI (Zare) (ブラジル) ESPM

10 月 2 日 Jorge Orlando MELO GONZÁLEZ (コロンビア) ホルヘ・タデオ・ロサノ大学教授・社会科学学部長

Patricia CÁRDENAS (コロンビア) 特命全権大使

Angela YAMAURA (コロンビア) 駐日大使館教育・学術協力担当

11 月 20 日 Johannes REHNER (チリ) チリ・カトリカ大学アジア研究センター

11 月 29 日 David POTTER (アメリカ合衆国) 南山大学総合政策学部教授

§ 図書室

蔵書数：38,800 冊（和書 4,244 冊、洋書 34,556 冊）
 受入継続雑誌：84 点、うち洋雑誌 67 点
 購入図書：245 冊（和書 82 冊、洋書 163 冊）
 受贈図書：52 冊（和書 23 冊、洋書 29 冊）

§ 人事

- ◆ 客員所員 大越翼（任期 4 月 1 日～3 月 31 日）
- ◆ 客員研究員 加藤薫（任期 4 月 1 日～3 月 31 日）
 新木秀和（任期 4 月 1 日～3 月 31 日）
 藤田護（任期 4 月 1 日～3 月 31 日）
- ◆ 準所員 藤井嘉祥、増山久美、箕輪茂、村瀬幸代、齋藤亜子、千代勇一
 （任期 4 月 1 日～3 月 31 日）

§ その他のラテンアメリカに関する所員業績（ABC 順）

◆ HASEGAWA, Nina

4 月	ディプロマ	「平和文化国際ディプロマ」(国連協会世界連盟ベネズエラ)
4 月 5 日 ～4 月 26 日	ラジオ	NHK ラジオの語学番組「まいにちスペイン語」(応用編)立岩礼子担当レッスン 1～4。
6 月 1 日	発表	「没後百周年のポサダ」、日本ラテンアメリカ学会第 34 回定期大会分科会 7(文学)(於:獨協大学)。
3 月 5 日	論文	「没後百周年のポサダ」『上智大学外国語学部紀要』第 48 号 43-119 ページ。

◆ 幡谷 則子

6 月 1 日	学会報告	「地域研究は誰のためにあるのかーラテンアメリカ地域社会へのコミットメントを問い直すー」パネル B「地域研究は何のためにあるのか」日本ラテンアメリカ学会第 34 回定期大会(於:独協大学)。
7 月 28 日	発表	「近現代ラテン・アメリカにおける言語政策史比較研究に向けて」寺尾智史(神戸大学)への論評、ラテンアメリカ政治経済研究部会・西嶋章次先生メモリアル研究会(ラテン・アメリカ政経学会関西部会共催)(於:神戸大学経済経営研究所)。
12 月 2 日	講義	講義「資源豊富なコロンビアー開発と人々のくらしー」ラテンアメリカ・リレー講義、関西外国語大学。
2 月 20 日 ～3 月 6 日	現地調査	フランス、ポルトガル、スペイン(パリ、リスボン、コインブラ、バルセロナ)。「ラテンアメリカの連帯経済ー南欧の理論と実践」に関する調査。
3 月 15 日	論文	「紛争と開発をめぐる地域研究のアプローチ」、『地域研究』Vol.14, No.1, 84-105 ページ。

◆ 子安 昭子

11 月 8 日	共著	「外交におけるグローバル・プレーヤーへの道」、近田亮平編『躍動するブラジルー新しい変容と挑戦』、アジア経済研究所、145-168 ページ。(ISBN: 978-4-2582-9034-5)
11 月 17 日	学会報告	「外交におけるグローバル・プレーヤーへの道」、シンポジウム「躍動するブラジルー新しい変容と挑戦」ラテン・アメリカ政経学会 2013 年度全国大会(於:日本貿易振興機構アジア経済研究所)。

◆ NEVES, Mauro

4 月 18 日	共著	“O conceito de música popular no Japão”, em Greiner, Christine, Cecília Noriko Ito Saito e Marco Souza (eds.) <i>Em busca do Japão contemporâneo: conversas, ensaios e traduções</i> , São Paulo: Hedra, pp. 105-131. (ISBN: 978-8-5771-5315-2)
8 月 8 日 ～9 月 5 日	現地調査	ブラジル。

◆田村 梨花

4月1日 ～3月31日	共同研究 (研究分担者)	「学習者のウェルビーイングに資するノンフォーマル教育の国際比較研究」文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(B))、研究課題番号:10353377、2013/4/01～2016/3/31(予定)。
9月3日 ～9月20日	現地調査	ブラジル(サンパウロ・ベレンにて調査およびインタビュー) (「学習者のウェルビーイングに資するノンフォーマル教育の国際比較研究」文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(B))、研究課題番号:10353377 による調査)
12月25日	共著	「コラム27 ブラジルの民衆教育」、「コラム31 『もう一つの世界』のための教育—世界社会フォーラムと世界教育フォーラム」、「コミュニティ研究とフィールド調査(第9章 ノンフォーマル教育研究へのアプローチ)」丸山英樹・太田美幸編『ノンフォーマル教育の可能性—リアルな生活に根ざす教育へ—』新評論、180-185 ページ、201-204 ページ、230-234 ページ。(ISBN: 978-4-7948-0960-5)

◆谷 洋之

8月17日 ～9月1日	出張	メキシコ(メキシコ市、グアナフアト州サラマンカ市ほか、ハリスコ州グアダハラ市)、アジア経済研究所「ラテンアメリカの現代アグリビジネスと土地制度」研究会予算による現地調査。
2月28日	論文	「メキシコ: NAFTA に行き着いた政策転換とその後の農業政策」、谷口信和ほか編『世界の農政と日本: グローバリゼーションの動揺と穀物の国際価格高騰を受けて』(『日本農業年報』60)、農林統計協会、177～192 ページ。(ISBN978-4-541-03969-9)

◆TOIDA, Helena

1月	エッセイ	「私にできること、私にしかできないこと」、『ブラジル特報』No. 1618, 1 ページ。
----	------	---

◆YAMAGUCHI, Ana Elisa

6月29日	学会報告	「在英ブラジル人についての基礎的調査研究」第23回日本移民学会(於:武蔵大学)。
8月8日～ 26日	現地調査	イギリス。「英国移民政策と在英ブラジル人の生活戦略の基礎的調査研究」、日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 若手研究(B)。
9月14日～ 27日	現地調査	ブラジル。「日本からブラジルへ帰国したブラジル人家族と支援団体の調査」。
2月27日	学位取得	「在日ブラジル人の移動形態および移住コミュニティが家族構成変容に与える影響についての考察—分散型居住地と集住型居住地の比較研究—」一橋大学、博士(社会学)学位取得。

◆矢澤 達宏

6月1日	学会報告	「20世紀前半のブラジル黒人新聞にみる人種」、日本ラテンアメリカ学会、第34回定期大会、分科会1(近現代の法・歴史・文化)(於:獨協大学)。
------	------	--

◆吉川 恵美子

4月23日	講義	「佐野碩とメキシコ演劇」、早稲田大学オープンカレッジ早稲田大学演劇博物館連携講座(佐野碩と世界演劇 日本・ロシア・メキシコ “芸術は民衆のものだ”)。
3月27日	年鑑	「2013 メキシコ演劇 ビオレンシアの嵐の中で」、『THEATRE YEAR-BOOK 2014 国際演劇年鑑』、国際演劇協会(ITI/UNESCO)日本センター、115-122 ページ。

上智大学イペロアメリカ研究所

〒102-8554
東京都千代田区紀尾井町 7-1

Tel. 03-3238-3530
Fax. 03-3238-3229
E-mail: ibero@sophia.ac.jp
Web site:
<http://www.info.sophia.ac.jp/ibero>

所長 幡谷則子
副所長 Helena TOIDA
正所員 Nina HASEGAWA
岸川毅
子安昭子
Mauro NEVES
田村梨花
谷洋之
Ana Elisa YAMAGUCHI
矢澤達弘
吉川恵美子
名誉所員 Gustavo ANDRADE
Jaime FERNÁNDEZ
林屋永吉
堀坂浩太郎
Osvaldo HURTADO
今井圭子
小林一宏
三田千代子
水野一
中川和彦
清水憲男
高山智博
